

川崎市立柘形中学校

令和7年4月28日発行

柘形中通信 2号

「新しい時代の柘形中へ」

校長 岩崎 知美

色鮮やかな花々に包まれ、春の香りが満ちあふれる、春爛漫のこの良き日に入学式を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

新入生の皆さん、そしてご保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

さて、本校は、多摩丘陵の自然豊かな地に、昭和55年4月1日、稲田中学校から分離し開校いたしました。

柘形の丘に学校があり、ふもとには梨園が広がっていることから、校章にはマスの形の中に梨の花を配した地域を象徴したデザインとなっています。

今年度は、創立当初からのブルーの制服から、現在の3年生から新しい制服となり、3年目を迎えました。3学年すべてが同じ制服になった初めての年でもあります。これからの新しい柘形中学校を作る学年として、誇りをもって新しい制服を着用して行ってほしいと思います。

3月には学区の3小学校の卒業式に参加させていただきました。その卒業式でのみなさんの姿、呼びかけ、合唱どれをとっても立派な姿で、そうしたみなさんが柘形中学校に入学してくることを大変楽しみにしていました。中学校では小学校と違った点も沢山出てくると思います。学ぶ内容もより深く、より広くなります。新しい友達や先生との出会いも多く、皆さんの視野はますます広がるでしょう。困難に直面することもあるかもしれませんが、その一つ一つが皆さんを成長させる大切な経験です。

また、また本校では、育てたい生徒像を「気づき・考え・行動する」生徒としています。この三つの力は、授業はもちろんのこと、学級活動や学校行事、部活動、どのようなときにも必要とされる大切な力であると考えています。新入生のみなさんにも三年間で身に付けて行ってほしいと思います。

今日ここにいる120名は、これからの3年間を、共に過ごす大切な仲間です。そこで生まれる友情はこれからのみなさんにとって、かけがえのない大きな力になることでしょう。たくさんのお友達を作って、友情を育ててください。

保護者の方々や、地域の方々も、そして私たち教職員も、みなさんの成長に限りない期待を寄せています。

最後になりますが、手塩にかけて育てられたお子様を、本日より皆様の期待と信頼に応えられるよう、教職員一同、心を一つにして、責任を持ってお預かりいたします。

どうかこの間、本校の教育活動に深いご理解と、力強いご支援、そしてご協力を賜りますようお願いいたしまして、式辞といたします。

(4月7日入学式式辞より)